入学までの準備内容について

平成 28 年 8 月 2 日
神戸大学大学院法学研究科

トップローヤーズ・プログラムの租税法，競争法，知的財産法，労働法の４つの専攻分野について，入学までに準備すべき内容をお知らせいたします。入学時に必要な学識の水準の参考にしてください。

【租税法】

中里実ほか編『租税法概説〔第 2 版〕』（有斐閣，2015 年）のような初級から中級水準の租税法概説書に目を通しておいてほしい。授業で前提とされる法科大学院レベルの（所得税を中心とする）租税法の内容については，金子宏ほか編『ケースブック租税法（第 4 版）』（弘文堂，2013 年）を参照すること。この他，「企業課税（国際課税）」については宮崎裕子・増井良啓『国際租税法（第 3 版）』（東京大学出版会，2015 年）に予め目を通しておくとよい。

【競争法】

たとえば金井貴嗣・川濵昇・泉水文雄編『独占禁止法〔第 5 版〕』（弘文堂，2015 年），根岸哲・舟田正之『独占禁止法概説[第 5 版]』（有斐閣，2015 年）のような中級水準の経済法概説書に目を通しておいてほしい。授業で前提とされる法科大学院レベルの経済法の審判決については，金井貴嗣・川濵昇・泉水文雄編『ケースブック独占禁止法（第 3 版）』（弘文堂，2013 年）を参照すること。

【知的財産法】

島並・上野・横山『著作権法入門』（有斐閣，2009 年），島並・上野・横山『特許法入門』（有斐閣，2014 年）の 2 冊について，熟読をしてくること。

【労働法】

菅野和夫『労働法（第 11 版）』（弘文堂）か，荒木尚志『労働法（第 2 版）』（有斐閣）を読んでおくことが望ましい。判例については，大内伸哉『最新重要判例 200 労働法（第 4 版）』（弘文堂）の内容は抑えておいてもらいたい。

以上